

2020年度
Q2連結累計期間決算説明資料
2020年11月9日



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

内容

I. 2020年度Q2累計 連結決算概況	
1. 収支の状況	P3
2. 財務の状況	P12
3. 資源セグメントの状況	P16
II. 経営計画・ESG対応	P17
III. 2020年度 感応度	P20

I. 2020年度Q2累計 連結決算概況

1. 収支の状況

(1)総括

- 売上・3利益とも10/23業績予想修正の公表値とほぼ同水準で着地しました。
- 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに、前年同期比で増益かつ黒字に転じました。営業利益は、前年同期比107億円の増益（製錬セグメント90億円増益、資源セグメント20億円増益）となりました。製錬セグメントの増益は、前年同期の在庫評価損の益転・買鉱条件の改善・金増販等、資源セグメントの増益は営業損失の減少によるものです。

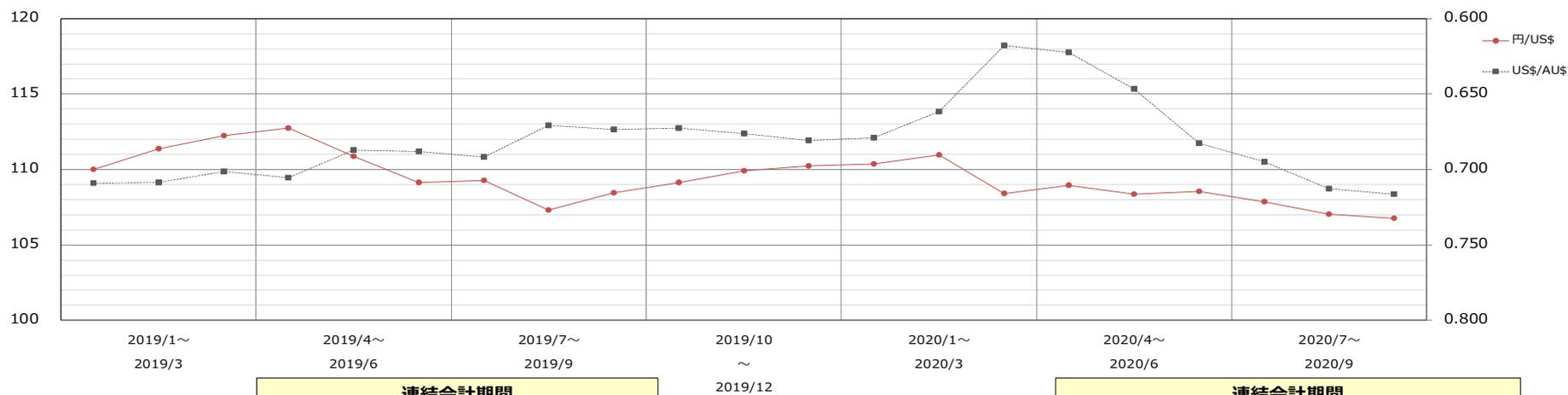
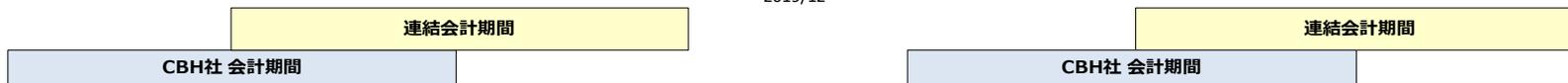
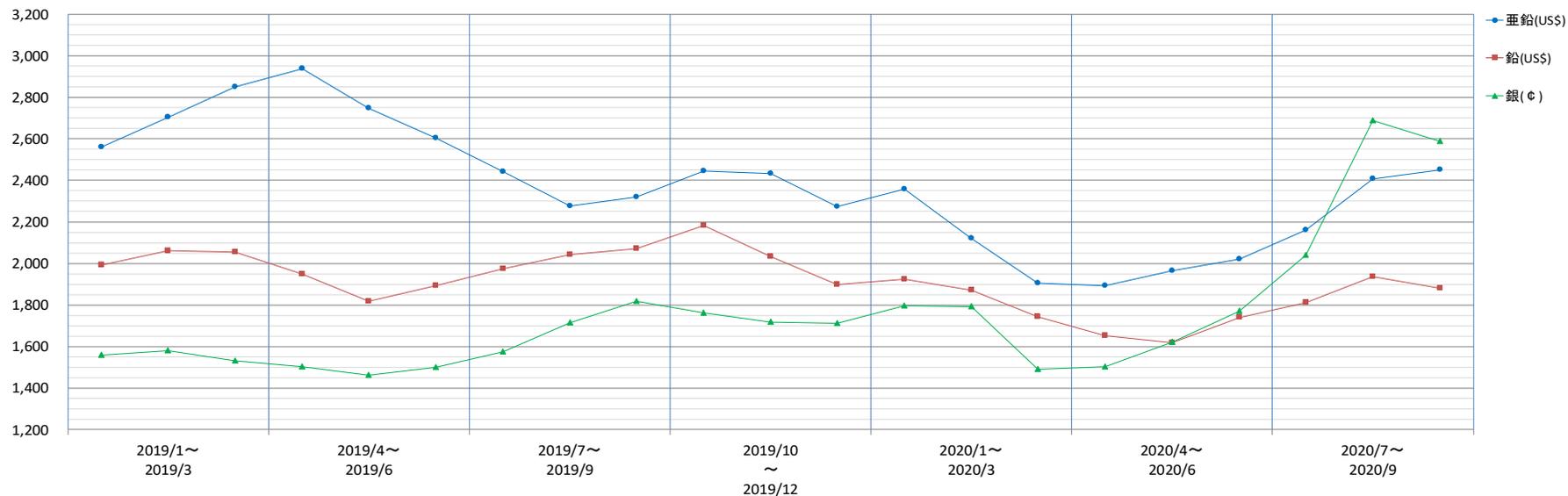
単位:億円

<上期収支>

	当初予想 (5/29公表)	修正予想 (10/23公表)	実績 (11/9公表)
連結売上高	409	453	452
連結営業利益	7.6	29.6	29.8
連結経常利益	5.6	33.7	33.9
連結純利益	32.4	27.1	27.0

1. 収支の状況

(2)市況推移



1. 収支の状況

(3)10/23公表比較(市況・生産量)

			予想 (10/23公表)		実績 (11/9公表)
			上期	内Q2	
市況	亜鉛(米\$/t)		2,150	2,340	10/23公表の予想値と変わらず
	鉛(米\$/t)		1,773	1,876	
	銀(米\$/toz)		20.4	24.4	
	円/米\$		106.9	106.2	
	米\$/豪\$		0.658	0.657	
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)		41.7	19.8	
	鉛製品(千t)		48.6	24.4	
	電気銀(t)		170	88	
資源セグメント CBH社関連 (1-6月)	粗鉱処理量 (千t)	エンデバー	-	-	
		ラスプ	318	166	
		計	318	166	
	亜鉛精鉱生産 量(千dmt)	エンデバー	-	-	
		ラスプ	23.6	11.5	
		計	23.6	11.5	
	鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	-	-	
		ラスプ	12.0	4.3	
		計	12.0	4.3	

1. 収支の状況

(4)10/23公表比較(収支)

			予想 (10/23公表)		実績 (11/9公表)		Q2 (B)-(A)
			上期	内Q2(A)	上期	内Q2(B)	
売上高(億円)			453	234	452	233	▲1
営業利益(億円)	製錬		34.2	25.0	34.7	25.5	0.5
		在庫評価損益	25.9	18.1	29.0	21.1	3.1
		非鉄スラグ	▲5.2	▲2.9	▲5.2	▲2.9	▲0.0
		上記以外	13.5	9.8	10.9	7.2	▲2.6
	資源	▲11.0	▲7.1	▲11.0	▲7.1	0.0	
	電子部材	1.2	0.3	1.0	0.0	▲0.3	
	環境・リサイクル	3.0	1.3	2.9	1.2	▲0.1	
	その他※	4.0	2.3	4.0	2.3	0.1	
	調整額	▲1.6	▲0.7	▲1.8	▲0.8	▲0.2	
	計	29.6	20.9	29.8	21.1	0.2	
経常利益(億円)			33.7	20.9	33.9	21.1	0.2
純利益(億円)			27.1	18.5	27.0	18.5	▲0.0
EBITDA(億円)			54.8	34.8	53.6	33.2	▲1.5

※「その他」に係る営業利益には、「土木・建築・プラントエンジニアリング」セグメントに係る営業利益を含む。

1. 収支の状況

(5)第2Qの状況(市況・生産量)

		第1Q累計	第2Q	上期累計	
市況	亜鉛(米\$/t)	1,959	2,340	2,150	
	鉛(米\$/t)	1,670	1,876	1,773	
	銀(米\$/toz)	16.3	24.4	20.4	
	円/米\$	107.6	106.2	106.9	
	米\$/豪\$ (1-6月)	0.659	0.657	0.658	
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	21.9	19.8	41.7	
	鉛製品(千t)	24.3	24.4	48.6	
	電気銀(t)	82	88	170	
資源セグメント CBH社関連 (1-6月)	粗鋅処理量 (千t)	エンデバー	-	-	-
		ラスプ	152	166	318
		計	152	166	318
	亜鉛精鋅生産 量(千dmt)	エンデバー	-	-	-
		ラスプ	12.1	11.5	23.6
		計	12.1	11.5	23.6
	鉛精鋅生産量 (千dmt)	エンデバー	-	-	-
		ラスプ	7.7	4.3	12.0
		計	7.7	4.3	12.0

1. 収支の状況

(6)第2Qの状況(収支)

			第1Q累計	第2Q	上期累計
売上高(億円)			219	233	452
営業利益(億円)	製錬		9.2	25.5	34.7
		在庫評価損益	7.8	21.1	29.0
		非鉄スラグ	▲2.3	▲2.9	▲5.2
		上記以外	3.7	7.2	10.9
	資源	▲3.9	▲7.1	▲11.0	
	電子部材	0.9	0.0	1.0	
	環境・リサイクル	1.7	1.2	2.9	
	その他※	1.7	2.3	4.0	
	調整額	▲0.9	▲0.8	▲1.8	
	計	8.7	21.1	29.8	
経常利益(億円)			12.8	21.1	33.9
純利益(億円)			8.6	18.5	27.0
EBITDA(億円)			20.3	33.2	53.6

※「その他」に係る営業利益には、「土木・建築・プラントエンジニアリング」セグメントに係る営業利益を含む。

1. 収支の状況

(7)前年同期比較(市況・生産量)

		前年同期	Q2累計	差(実額)	差(%)	
市況	亜鉛(米\$/t)	2,554	2,150	▲405	▲16	
	鉛(米\$/t)	1,958	1,773	▲185	▲9	
	銀(米\$/toz)	16.0	20.4	4.4	28	
	円/米\$	108.6	106.9	▲1.7	▲2	
	米\$/豪\$(1-6月)	0.710	0.658	▲0.052	▲7	
製錬セグメント 主要 製品生産量	亜鉛製品(千t)	43.2	41.7	▲1.5	▲3	
	鉛製品(千t)	47.4	48.6	1.3	3	
	電気銀(t)	144	170	26	18	
資源セグメント CBH社関連(1-6月)	粗鉱処理量 (千t)	エンデバー	171	-	-	-
		ラスプ	335	318	▲18	▲5
		計	506	318	▲188	▲37
	亜鉛精鉱生産 量(千dmt)	エンデバー	13.0	-	-	-
		ラスプ	24.6	23.6	▲0.9	▲4
		計	37.6	23.6	▲14.0	▲37
	鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	5.7	-	-	-
		ラスプ	12.4	12.0	▲0.4	▲3
		計	18.1	12.0	▲6.1	▲34

1. 収支の状況

(8)前年同期比較(収支)

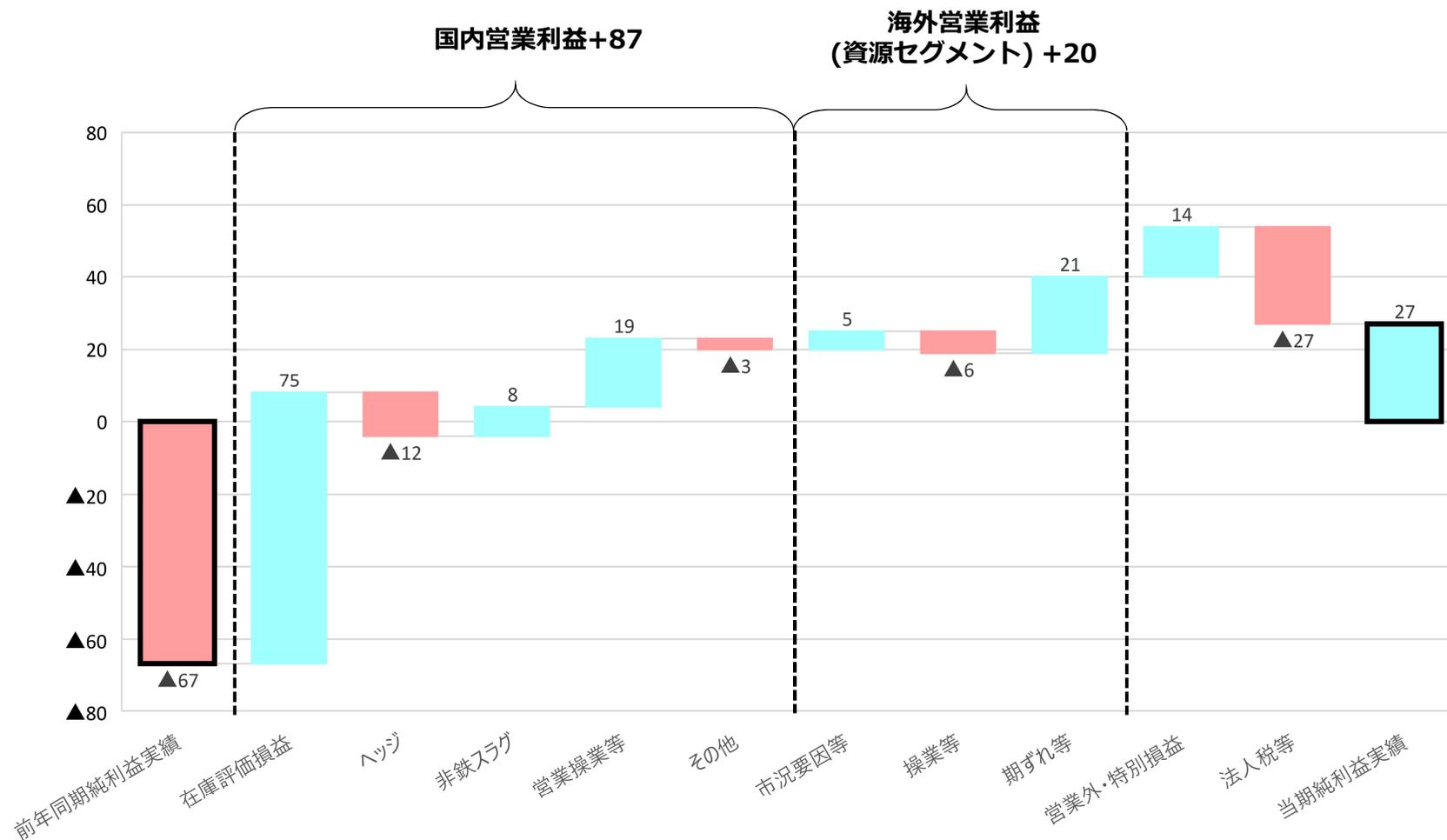
			前年同期	Q2累計	差額
売上高(億円)			492	452	▲40
営業利益(億円)	製錬		▲55.1	34.7	89.8
		在庫評価損益	▲33.8	29.0	62.8
		非鉄スラグ	▲13.3	▲5.2	8.1
		上記以外	▲8.0	10.9	18.9
	資源	▲30.8	▲11.0	19.8	
	電子部材	2.2	1.0	▲1.2	
	環境・リサイクル	5.0	2.9	▲2.1	
	その他 ※	2.1	4.0	1.9	
	調整額	▲0.8	▲1.8	▲0.9	
	計	▲77.5	29.8	107.3	
経常利益(億円)			▲73.4	33.9	107.2
純利益(億円)			▲67.0	27.0	94.0
EBITDA(億円)			▲44.2	53.6	97.7

※「その他」に係る営業利益には、「土木・建築・プラントエンジニアリング」セグメントに係る営業利益を含む。

1. 収支の状況

(9)前年同期比較(収支)

単位：億円



2. 財務の状況

(1)貸借対照表(資産の部)

単位：億円

		2020年3月末 実績	2020年9月末 実績	差(実額)	
流動資産	現金・預金	82	108	26	
	受取手形・売掛金	109	122	13	
	たな卸資産	350	387	37	
	その他	52	34	▲18	
	計	593	651	58	
固定資産		390	375	▲15	
	有形固定資産	内CBH社関係	78	72	▲6
		(豪\$百万表示)	(102)	(97)	(▲5)
		110	113	3	
	無形固定資産	内CBH社関係	109	113	3
		(豪\$百万表示)	(143)	(152)	(9)
	投資その他	80	69	▲11	
計	580	557	▲23		
資産合計		1,173	1,209	36	

2. 財務の状況

(1)貸借対照表(負債・純資産の部)

単位：億円

		2020年3月末 実績	2020年9月末 実績	差(実額)	
負債の部	支払手形・買掛金	69	78	9	
	有利子負債	CP	40	80	40
		短期借入金	241	271	30
		長期借入金	283	241	▲42
		有利子負債計	564	592	28
	その他負債	177	177	▲0	
	計	810	847	37	
純資産の部	株主資本	資本金	146	146	0
		資本剰余金・自己株式	98	98	0
		利益剰余金	17	47	31
		株主資本計	261	292	31
	その他包括利益累計額	102	70	▲32	
	計	363	363	▲0	
負債・純資産 合計		1,173	1,209	36	

2. 財務の状況

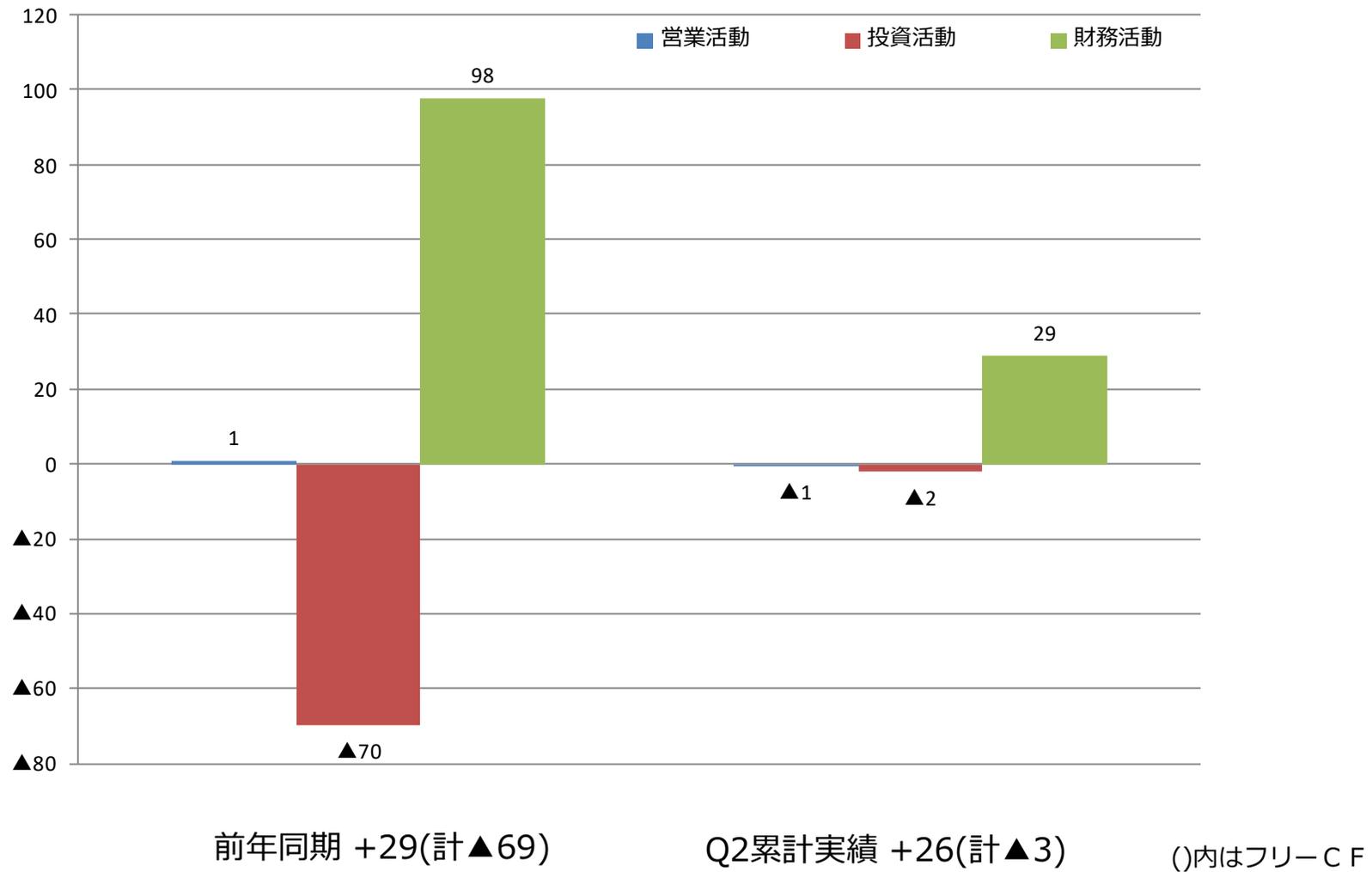
(2)主要財務指標の変化

	前年同期	Q2累計	評価
自己資本比率	34.9%	30.0%	悪化
D/Eレシオ	1.37倍	1.64倍	悪化
D/EBITDAレシオ (年換算)	▲7.2倍	5.5倍	改善
純利益/自己資本(ROE) (年換算)	▲26.2%	14.9%	改善
純利益/売上高	▲13.6%	6.0%	改善
売上高/総資産	0.7回転	0.7回転	横ばい
総資産/自己資本	2.6倍	3.3倍	増加

2. 財務の状況

(3) キャッシュ・フローの推移

単位：億円



3. 資源セグメントの状況

前年同期比+19.8億円

⇒内、CBH社営業利益▲1.1億円

(内、市況等他律要因+5.3億円)

①エンデバー鉱山

前年同期比+9.2億円(内、市況等他律要因+15.2億円(前期末計上の低価法評価損の戻り))

他律要因を除くと▲6.0億円の減益⇒自律要因は、前期末の休山関連コストを含む高い簿価の精鉱を当期に販売したことによる。

②ラスプ鉱山

前年同期比▲10.5億円(内、市況等他律要因▲9.9億円)

他律要因を除くと▲0.6億円の減益

③期ずれ等

前年同期比+20.9億円⇒期ずれ調整+19.6億円(前年同期▲16.8億円→当期+2.8億円)

単位：億円

利益(億円)		前年同期	Q2累計	差(実額)
CBH社営業利益	エンデバー鉱山	▲12.5	▲3.3	9.2
	ラスプ鉱山	1.3	▲9.2	▲10.5
	子会社その他	0.0	0.2	0.1
	計	▲11.1	▲12.3	▲1.1
期ずれ等		▲19.7	1.3	20.9
資源セグメント利益		▲30.8	▲11.0	19.8

II. 経営計画・ESG

1. 次期（第12次）中期経営計画（2021～2023年度）策定状況

(1) 2020年2月10日公表資料（2019年度Q3）「今後の対応」フォローアップ

下記3点は次期中計の骨子として策定作業中。

- ①資源セグメントにおける市況リスクテークの適正化。
- ②製錬セグメントにおける事業サステナビリティの担保。
- ③川下事業の収益貢献向上。

(2) 財務構造と収益力

- ①有利子負債削減によるD/E及び自己資本比率改善をKPI化。
- ②ROE、ROIC等の収益系KPI設定は収益構造の安定化が前提。
- ③具体的には、鉱山ポートフォリオ見直し・製錬事業の在庫評価損益ボラティリティ抑制により市況影響を適正化、加えて相対的に市況影響受けない川下事業の収益貢献向上を経て収益目標化を検討。

2. ESG対応

(1) 非鉄スラグ

- 2020年9月10日付け群馬県からの行政処分（安中製錬所産廃物処分業90日間停止）を踏まえ、環境安全室・品質保証室を独立専門部署とし、社外取締役2名を含む監査等委員によるガバナンス体制を一層強化。
- 本件に関わる地域住民の皆さまを初めとしたステークホルダーの更なる満足度向上を目指す。

(2) 鉱山管理・排出量制御

- （資源セグメント）豪州CBH社ラスプ鉱山においては、散水使用量削減にともなう水の節約、散水車利用頻度を下げることで燃料使用量ひいては二酸化炭素排出量の削減を目指す。
- （製錬セグメント）製品生産におけるエネルギー使用量・原単位を厳格管理することにより、二酸化炭素排出量の削減を図る。

(3) 省エネ・リサイクル

- 高効率または省エネ効果のある機器を積極的に採用し製造工程に取り入れ（燃料・熱・電気関連設備）。
- 製鋼ダストを原料とする環境・リサイクルセグメントのみならず、製錬セグメントにおいてもリサイクル原料を積極利用。

3. 株主還元の考え方

- 財務構造の健全性回復に向け、D/Eレシオ・自己資本比率とも向上途半ばであるため、自社株買取りというよりも、従来通りの一定額の現金配当で還元させて頂く。
- 2020年10月23日の業績予想修正でも触れた通り、現段階では外部環境の不確実性が極めて高く、最終パフォーマンスが見えてきたところで、配当予想を行うこととしたい。

Ⅲ. 2020年度 感応度

	変動幅	2019年度試算		2020年度試算		増減	
		連結営業利益影響額	内CBH	連結営業利益影響額	内CBH	連結営業利益影響額	内CBH
亜鉛	\$10 / t	¥56百万	¥40百万 (豪\$500千)	¥41百万	¥27百万 (豪\$400千)	▲¥15百万	▲¥13百万 ▲(豪\$100千)
鉛	\$10 / t	¥33百万	¥28百万 (豪\$360千)	¥21百万	¥16百万 (豪\$250千)	▲¥12百万	▲¥12百万 ▲(豪\$110千)
円/米\$	1円 / 米\$	¥64百万	-	¥82百万	-	+¥18百万	-
米\$/豪\$	0.001	豪\$ 2.8百万	同左	豪\$0.7百万	同左		同左

全体としてエンデバー鉱山休山及びラスプ鉱山減産に伴い影響額減少
円換算は67.0円/豪\$を使用